●水濡れ資料の処置方法

大量

冷凍して真空凍結乾燥

少量

作業①水分の吸収
【準備するもの】ペーパータオル（新聞紙・コピー用紙でも可能）
【作業】資料にコピー用紙などを挟み込んで水分を吸収させる。この作業を何度か繰り返す。
・最初のうちは頻繁に取り換え作業を行う。
・のど元部分にも水がたまりやすいので注意。
・泥などの付着物は、乾燥後除去する。

作業②乾燥
【準備するもの】体育館のような広いスペース、扇風機
【作業】ハードカバーやバインダーなどは極力立てて乾燥させる。立てられないものは一冊ずつ平置きする。
・風通しの悪い場所では、窓をあけ空気の流れをつくるか、または扇風機を使用して強制的に空気の流れを作りカビ等の発生を可能な限り抑える工夫をする。
・直射日光は避ける。

作業③カビへの対応
【準備するもの】エタノール、クロス、噴霧器、手袋、マスク
【作業】乾燥できずにカビが発生した場合はエタノールでの殺菌が有効。
・資料によってクロスでの拭き取りや噴霧器で殺菌する。
・人体への影響を考慮して、手袋やマスクを着用し作業は屋外で行う。